

平成 17 年 1 月号



保険かわら版

有限会社ビッグワン

小林 淳一 佐藤 達哉 堀野 修司 山本 康博
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-16-16-302
TEL 0120-866-413 FAX0120-866-414
E-Mail:bigone-a@bigone-gp.com
http://www.bigone-gp.com

備えあれば...～地震保険～

日本列島は、世界でも地震多発地域として知られています。1994年から2003年までに世界で発生したマグニチュード6.0以上の地震回数は960回でしたが、その22.9%に当たる220回の地震は、日本で発生したものでした。また、日本は国土面積が世界の0.25%であるのに対して、活火山数で7.1%、死者数で0.5%、災害被害額16.0%など、自然災害が際立って多発しています。

いま発生が懸念されている「東海地震」と「東南海・南海地震」の被害想定は甚大で、深刻なものだといわれています。その「東海地震」と「東南海・南海地震」の被害想定(注)と、阪神・淡路大震災の被害状況を比べてみましょう。

	東海地震の被害想定 (朝5時発生の場合)	東南海・南海地震の被害想定 (朝5時発生の場合)	阪神・淡路大震災
死者	最大 9,200 人	最大 18,000 人	死者・行方不明者 6,436 人
全壊建物	約 26 万棟	約 36 万棟	10.5 万棟
経済的被害	最大約 37 兆円	最大約 57 兆円	約 10 兆円
地震規模 (マグニチュード)	マグニチュード 8クラス	マグニチュード 8クラス	マグニチュード 7.2

(注)：予知に基づかず発生した地震による建物倒壊、火災、津波による被害を想定したもの。経済的被害は生産停止等を含み、人的被害、公共土木被害は含まない。

地震のさいの心得10ヶ条

地震による被害を軽減するには、地震発生直後にとるべき行動を理解しておく必要があります。そのためにもふだんから、地震発生時の行動を予め想定して訓練しておくとともに、家族で防災について話し合ったり、連絡方法や集合場所などを決めておくようにします。

まず我が身の安全を守れ！
地震が起きたらまず第一に身の安全を確保するため、テーブルなどの下にもぐりましょう。

狭い路地、壁ぎわ、がけや川べりに近寄らない！
ブロック塀・自動販売機などは倒れやすいので注意しましょう。がけや川べりも崩れやすいので、近づかないようにしましょう。

すばやく火の始動！～あわてず、さわがず、冷静に～
「火を消せ！」とみんなで声をかけ合い、調理器具、暖房器具などの火を確実に消しましょう。

山崩れ、がけ崩れ、津波に注意！
山間部や海岸部で地震を感じたら、ただちに避難しましょう。

戸を開けて出口の確保！
特に鉄筋コンクリートの建物がゆがむと、ドアが開かなくなることがあるので出入口を確保しましょう。

避難は徒歩で、荷物は最小限に！
指定された避難場所に徒歩で避難しましょう。荷物を持ちすぎると避難の支障になります。(車・オートバイ等は厳禁)

火が出たらすぐに消火を！
「火事だ！」と大声で叫び、隣近所にも協力を求め初期消火に努めましょう。

みんなで協力して「応急救護」を！
みんなで助け合っけてけが人の手当をしましょう。お年寄りや体の不自由な人の手助けをしましょう。

外へ出る時は、あわてずに！
外出中の家族にメモを残し、お年寄りや子供の手をしっかりと握って、落下物に注意しながら落ち着いて行動しましょう。

正しい情報を！余震を恐れるな！
うわさやデマに惑わされないようにしましょう。テレビ、ラジ